

研究機関：広島大学

| | |
|-------------|---|
| 研究課題名 | 自閉症スペクトラム学生の男女差に関する研究 |
| 研究責任者名 | 広島大学保健管理センター 教授 岡本百合 |
| 研究期間 | 2020年6月～ 2024年3月 |
| 対象者 | 2010年4月から 2020年3月の間に、広島大学保健管理センターで健康診断時に問診票に回答した学生 |
| 意義・目的 | 自閉症スペクトラム特性を背景に、メンタルヘルス問題を抱えた成人において、早期からの支援が重要であることがいわれていますが、男女差、大学生の適応状況やメンタルヘルス機器についての実態が解明されていません。今回幼少期からの支援の有無や青年期の実態を調査することで、早期支援が有用であることを明らかにするため、この研究を計画しました。 |
| 方法 | 本研究は、診療録（カルテ）情報を調査して行います。 カルテから使用する内容は年齢、性別、病名、合併症、不登校傾向の有無、行動上の問題の有無、社会的支援の有無、過去の受診やサポートの有無、過去の病歴や生育歴、心理検査結果です。 （個人を特定可能な情報は解析に用いません） |
| 共同研究機関 | ありません。 |
| 試料・情報の管理責任者 | 広島大学保健管理センター 教授 岡本百合 |
| 個人情報の保護について | 本研究は、疫学研究倫理審査委員会の審査を受け、広島大学理事より実施の許可を受けています。 解析前には匿名化を行い、対応表は外部に接続のないパソコンにパスワードを付して保存し、個人情報の取り扱いには十分配慮を行います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。調査結果は保健管理センターにてファイルにて厳重に管理いたします。解析時も外部に接続していないコンピューターを用います。本研究分担者がデータ入力及びデータ解析をそのパソコンで行い、常時施錠できる部屋で管理を行います。データの保存は研究終了後5年間とします。廃棄方法はコンピューターからのデータ完全削除といたします。得られた結果は学術論文や学会発表で公開いたします。なお本研究は運営交付金で行い、利益相反はありません。 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。 |
| 問合せ・苦情等の窓口 | 〒739-8514 広島県東広島市鏡山1-7-1 TEL：082-424-6186 広島大学保健管理センター 教授 岡本 百合 |